



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年11月10日

上場会社名 株式会社中西製作所

上場取引所 東

コード番号 5941 URL <https://www.nakanishi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中西 一真

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画室長 (氏名) 吉川 日出行

TEL 03-5541-6333

四半期報告書提出予定日 2022年11月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の業績 (2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	13,880	△3.7	399	△38.9	479	△34.1	347	△25.3
2022年3月期第2四半期	14,414	17.0	653	613.1	727	438.8	464	744.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	55.12	—
2022年3月期第2四半期	73.77	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	24,264	17,017	70.1
2022年3月期	25,883	16,951	65.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 17,017百万円 2022年3月期 16,951百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2023年3月期	—	0.00			
2023年3月期 (予想)			—	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,500	△1.9	950	△42.0	1,050	△40.2	660	△40.9	104.72

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	6,306,000株	2022年3月期	6,306,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	3,596株	2022年3月期	3,596株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	6,302,404株	2022年3月期2Q	6,302,411株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の詳細につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策が進み経済活動の制限が緩和され、緩やかな持ち直しの動きが見られたものの、世界的なインフレや円安の進行による輸入資材の価格高騰及び調達難の影響もあり、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況のもと、当社におきましては、総合厨房機器メーカーとして、食中毒や異物混入問題といった以前から注目されている「食の安全・安心」の課題克服にも目を向けつつ、得意とする省人化された効率的な大量調理・洗浄システムはもとより、最先端のロボット技術の導入も視野に入れ、様々な顧客ニーズに対応した厨房機器・厨房システムの提案を心がけ、営業部門、生産部門及び管理部門の各部門が一体となって業績の向上に取り組んでまいりました。

業績面におきましては、世界的な物流網の混乱や部品の供給不足等の影響から上半期から下半期に納期がずれた案件等があり、当第2四半期累計期間の売上高は138億80百万円（前年同期比3.7%減）となりました。利益につきましては、売上高総利益率は前年同期より若干改善するものの、コロナ禍における自粛緩和に伴い、旅費交通費の増加や展示会への出展により販売費及び一般管理費が増加したこともあり、営業利益は3億99百万円（前年同期比38.9%減）、経常利益は4億79百万円（前年同期比34.1%減）、四半期純利益は3億47百万円（前年同期比25.3%減）となりました。

なお、当社は、業務用厨房機器製造販売事業の主要販売先である学校給食関連の納期が夏季及び年度末に集中しているため、売上高が第1、第3四半期会計期間に比べて第2、第4四半期会計期間、特に3月に多くなる傾向にあります。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①業務用厨房機器製造販売事業

業務用厨房機器製造販売事業につきましては、売上高は138億29百万円（前年同期比3.7%減）、セグメント利益は3億74百万円（前年同期比39.9%減）となりました。

②不動産賃貸事業

不動産賃貸事業につきましては、売上高は51百万円（前年同期比9.6%減）、セグメント利益は24百万円（前年同期比19.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べ16億18百万円減少し、242億64百万円となりました。これは主に、仕掛品が5億68百万円、商品及び製品が4億30百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が17億26百万円、現金及び預金が9億41百万円減少したことなどによるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ16億84百万円減少し、72億47百万円となりました。これは主に、長期未払金が2億96百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が9億26百万円、退職給付引当金が4億24百万円、その他の流動負債が2億80百万円、未払法人税等が2億56百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べ66百万円増加し、170億17百万円となりました。これは主に、剰余金の配当が2億52百万円あったものの、四半期純利益を3億47百万円計上し、その他有価証券評価差額金が24百万円減少したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べて9億41百万円減少し、当第2四半期会計期間末には37億80百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は3億26百万円（前年同四半期は獲得した資金20億32百万円）となりました。これは主に売上債権が16億81百万円減少したものの、棚卸資産が11億27百万円増加、仕入債務が8億33百万円減少したことなどによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は1億9百万円（前年同四半期は使用した資金9百万円）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出が52百万円、有形固定資産の取得による支出が26百万円、投資有価証券の取得による支出が22百万円あったことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は5億5百万円（前年同四半期は使用した資金4億55百万円）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が2億50百万円、配当金の支払額が2億50百万円あったことなどによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期業績予想や配当予想につきましては、現時点において、2022年5月13日の決算発表時に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,722,658	3,780,660
受取手形及び売掛金	6,922,623	5,196,245
商品及び製品	1,335,229	1,765,748
仕掛品	667,519	1,236,348
原材料及び貯蔵品	697,381	825,744
その他	202,252	381,651
貸倒引当金	△692	△519
流動資産合計	14,546,972	13,185,880
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,692,195	3,614,569
土地	4,054,948	4,054,948
その他(純額)	746,297	672,044
有形固定資産合計	8,493,442	8,341,562
無形固定資産		
投資その他の資産	799,134	719,572
投資有価証券	1,021,513	1,008,163
前払年金費用	256,328	263,444
繰延税金資産	396,600	382,197
その他	377,468	387,206
貸倒引当金	△8,313	△23,412
投資その他の資産合計	2,043,597	2,017,598
固定資産合計	11,336,174	11,078,733
資産合計	25,883,146	24,264,614
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,157,756	2,231,114
電子記録債務	1,246,432	1,385,409
短期借入金	700,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	500,000	250,000
未払費用	392,073	390,908
未払法人税等	473,531	217,144
賞与引当金	307,864	330,188
その他	614,158	333,629
流動負債合計	7,391,816	5,838,395
固定負債		
長期未払金	—	296,699
退職給付引当金	1,112,950	688,176
再評価に係る繰延税金負債	298,917	298,917
その他	128,393	124,971
固定負債合計	1,540,261	1,408,764
負債合計	8,932,078	7,247,160

(単位:千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,445,600	1,445,600
資本剰余金	1,537,125	1,537,125
利益剰余金	14,407,279	14,502,581
自己株式	△2,745	△2,745
株主資本合計	17,387,259	17,482,560
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	465,883	441,187
繰延ヘッジ損益	5,541	1,321
土地再評価差額金	△907,615	△907,615
評価・換算差額等合計	△436,190	△465,106
純資産合計	16,951,068	17,017,454
負債純資産合計	25,883,146	24,264,614

(2) 四半期損益計算書

(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	14,414,983	13,880,947
売上原価	10,926,455	10,496,226
売上総利益	3,488,527	3,384,720
販売費及び一般管理費	2,834,810	2,985,445
営業利益	653,717	399,275
営業外収益		
受取配当金	11,039	12,440
仕入割引	28,800	26,924
補助金収入	19,931	1,339
その他	19,557	43,794
営業外収益合計	79,328	84,498
営業外費用		
支払利息	4,511	3,168
その他	1,430	1,551
営業外費用合計	5,941	4,719
経常利益	727,104	479,054
特別利益		
退職給付制度改定益	-	82,047
特別利益合計	-	82,047
特別損失		
固定資産除却損	22	559
特別損失合計	22	559
税引前四半期純利益	727,082	560,541
法人税、住民税及び事業税	299,413	186,058
法人税等調整額	△37,290	27,085
法人税等合計	262,123	213,143
四半期純利益	464,959	347,398

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	727,082	560,541
減価償却費	237,865	250,390
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△344	14,925
賞与引当金の増減額 (△は減少)	22,441	22,324
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4,853	△128,075
前払年金費用の増減額 (△は増加)	1,784	△7,116
受取利息及び受取配当金	△11,044	△12,443
支払利息	4,511	3,168
固定資産除却損	-	559
売上債権の増減額 (△は増加)	3,317,484	1,681,182
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△97,545	△1,127,711
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,620,850	△833,221
その他	△199,833	△326,230
小計	2,386,405	98,294
利息及び配当金の受取額	11,044	12,443
利息の支払額	△4,478	△3,345
法人税等の支払額	△360,096	△433,648
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,032,874	△326,255
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,775	△26,667
無形固定資産の取得による支出	△5,472	△52,707
投資有価証券の取得による支出	△4,558	△22,176
その他の支出	△11,179	△11,347
その他の収入	21,281	2,911
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,705	△109,987
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	300,000	-
長期借入金の返済による支出	△550,000	△250,000
リース債務の返済による支出	△4,007	△5,086
配当金の支払額	△200,577	△250,669
その他	△583	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△455,169	△505,755
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,459	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,569,459	△941,998
現金及び現金同等物の期首残高	3,492,318	4,722,658
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,061,778	3,780,660

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。